

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人友の会	代表者	大嶋 泰雅	法人・事業所の特徴	八戸市の中心街である長根公園の向かいにあり、自然が豊かであるため四季を感じながら過ごす事が出来ます。個々の意向に合わせて通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ利用する事で在宅での生活が継続出来るよう支援しています。また、町内会への加入や地域行事への参加も積極的に行ってています。					
事業所名	小規模多機能ホーム 長根の森	管理者	水野 雄大							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高齢者支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	1人	1人	0人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	① 今後も自己評価に早めに取り組めるように、事前の勉強会の実施と環境作りを行う。	① 職員会議等を通して、計画通りに実施することが出来た。	項目ごとに改善計画、取り組み結果、今回の改善計画と、こまめに取り組んでおり、素晴らしいと思います。	① サービス評価の内容を職員全員で理解を深め、次回のサービス評価に活かす。
B. 事業所のしつらえ・環境	① 担当職員がご利用者の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ会議等で話し合い意見交換する事で、次の対応につなげていく。 ② 訪問で対応に苦慮し支援が出来ない状況がある一方で、支援者が代わると支援が出来た内容が申し送りされてない事があるので、支援が出来た事柄を忘れず入力し情報共有できるようにする。	① 利用者様の心身状況に応じたケアを、毎月の会議や毎日のミーティングで話し合う事で、その後の対応改善に繋げて行く事が出来た。内部研修（e-ラーニング）や AED 講習など実施できている。 ② 各利用者様へのケアや支援方法についての見直しや改善方法の検討は、ミーティングや会議での話し合いや、ケアマネに相談する事で、素早く柔軟な対応に繋げる事が出来ていた。	対応に苦慮するケースは今後も出てくると思います。特定の職員に負担がかからないように情報共有して支援してほしいと思います。 改善計画や取り組み結果の内容が、テーマに合致していないのは？	① 利用者様やご家族とのコミュニケーションを通して様々なニーズの引き出しを行い、よりよい生活が送れるような支援を提案できる。 ② 利用者様の目標の実現に向け、ミーティングや会議を通して、統一したケアを心掛ける。また、関わった利用者様の情報は職員間で共有し、問題点に対して具体的な解決案を提案していく。
C. 事業所と地域のかかわり	① 地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討し、地域の方に小規模多機能居宅介護や施設の様子を知って頂く。	① 施設広報誌を定期的に作成し、運営推進委員や町内会に配布するほか、事業所の掲示板に貼り普段の様子を知つていただいている。また、行事や運営推進会議の際に利用者の創作物を掲示したりプレゼントしている。	広報誌は写真が多く、利用者様の様子や施設内の様子がとてもわかりやすいと思います。 様々なツールと機会を通じて有益な活動をしていると思います。	① 新型コロナ感染症等の状況を踏まえながら、施設のイベント（各行事・研修会）などを積極的に実施することで、地域住民が参加できる機会を作り、地域に開かれた施設を目指す。

	<p>② サービス担当者会議に、ケアマネだけではなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。</p>	<p>② ケアマネジャーが中心となり各関係機関との情報交換に努めている。その内容について、申し送りノートへの記載、ミーティング、ケース会議などを通じて、職員間で日々情報を共有し、必要に応じてサービスの提供が出来ている。</p>		<p>② ご家族様、利用者様に関わる際に速やかな情報提供や相談を行い、信頼関係の構築に努める。また、本人や家族の意向を引き出し適切なケアマネジメントが展開できるよう支援継続していく。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>① 地域でみていく為に、民生委員の役割や社会資源の内容、活用するまでの流れについて勉強会を通じて理解するとともに、事業所の活動について知って頂けよう、地域の方々との話し合いの場を設ける。</p>	<p>① ケアマネが必要に応じて資源の活用などを行っている。しかし、社会資源や民生委員の役割など知らない職員もいた。</p>	<p>地域の行事などに参加することで、事業所の周知と民生委員を含め、利用者様のニーズに沿った社会資源の情報収集をしていただければと思います。</p>	<p>① 現在利用されている方がどのような様な資源を活用しているか把握する。また、地域ケア会議の内容を職員間で共有する。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>① 在宅での介護や認知症、虐待などについて、事業所でのケースや事例をもとに、それぞれの意見を頂く。</p>	<p>① 介護に関する困難事例や認知症、虐待について、当事業所のケアを振り返りながら、毎月のケア会議や普段のミーティングで話し合い、職員間で共有することができた。</p>	<p>事業所全体で話し合うことで、困難ケースの悪化や虐待につながらないようにしてほしいと思います。 今後の改善計画にあるように、ともに学んでいけば有効な意見交換ができると思います。</p>	<p>① 身体拘束やプライバシー、成年後見制度の取り組みを運営推進会議で随時報告し、知つていただくとともに制度等について一緒に学べる機会を持つ。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>① 事業継続計画の体制づくりが出来次第、職員全員へ周知を図っていく。</p> <p>② 地域の一員として防災や災害時の連携が図れるよう、協力に努めていく。</p>	<p>① 事業継続計画は法人内で作成中であり、今年度中に体制を整備していく。</p> <p>② 可能な限り業務調整し、地域での活動に参加している。また新型コロナ感染症蔓延防止のため、部外者の来訪は制限があり、施設として積極的な受け入れが出来ていなかった。</p>	<p>町内で災害訓練、AED研修会があります。合同で実施することもいいと思います。 地域の消防団との連絡が取れるように体制を作つてみては。 町内会で来年度”ハグ”を防災研修でやってみたいと思っていますが、職員の皆様も一緒に体験してみませんか。 一時的避難所として活用させていただくと、地域・町内会としても、大変助かりますので、ご検討ください。</p>	<p>① 事業継続計画作成し、計画の内容について研修や訓練を実施できる。</p> <p>② 地域活動の情報収集に努め、町内会や地域の災害訓練に参加できる。</p>

令和5年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

事業所自己評価一覧表

1. 参加人数： スタッフ16名（常勤14名 非常勤2名）
2. 個人アンケート配布：16名（9月1日）
3. 個人アンケート回収：16名（9月20日）
4. 職員会議の期間：令和5年10月10日～10月27日（全5回）

◆実施事業所

社会福祉法人 友の会

小規模多機能ホーム 長根の森

(八戸市長根1丁目2-8 友の会福祉会館内3階)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 10月7日 (14:00 ~ 14:30)
------------------	-----	----------------------------

1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	橋・赤澤・大石・古村・橋本
-------------------	------	---------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	9	2		16人

前回の改善計画

これまでの生活状況をしっかりと把握し、地域の中で今までと変わらないような生活を送れるよう支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

情報収集及びニーズを把握し、ご本人様やご家族様がどのような生活を望まれているかを引き出し、会議では気づいた事など話し合う事で、安心して生活を送るよう支援が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	7	7			16名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4	10			16名
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いででの声掛けや気遣いができますか？	5	8	1		16名
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	7	3	1	16名

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・心身状況や生活状況を把握し、サービス利用時には必要としている支援を軸として変更があれば都度ミーティングを行い、情報を共有しながら支援している。また、慣れない環境に順応出来るようコミュニケーションを図る機会を出来るだけ多く作る工夫をするとともに、利用者様だけでなくご家族様にも施設での様子を情報共有している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご家族様、介護者と接する機会や時間が限られているため、最低限の事しか伝える事が出来ない。関係性が密ではないため、ご本人の不安を受けとめる事が難しい。基本情報や接し方などについて「自分なり」の理解で考えてしまうため、対応にズレが生じる事がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・引き続き基本情報を基に、利用者様やご家族様との信頼関係を築く。施設や自宅での様子や言動をこまめに情報共有する事で、不安や要望を受けとめ、支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 10 月 7 日 (14:30~15:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー 妻神・植村・川井・橋本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6	5	5		16人

前回の改善計画

担当職員がご利用者様の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ、会議等で話し合い、意見交換することで、次の対応につなげて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 利用者様の心身状況に応じたケアを、毎月の会議や毎日のミーティングで話し合う事で、その後の対応改善に繋げて行く事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	3	7	6		16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	3	7	6		16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	8	7		16人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	5	4	7		16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々のコミュニケーションや職員からの情報、モニタリングからニーズを引き出し、利用者様の声を傾聴する事で、様々な心身機能や状況に応じた実践内容を話し合い、振り返りにより改善方法を引き出す事が出来ていた。また、関わった時の様子を記録やミーティングで共有する事により、支援内容の見直しに活かしていく事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ニーズまで踏み込んだコミュニケーションが図れていない。課題の抽出は出来ているが、原因分析や対応について、関わった利用者様の情報を会議の場で積極的に発信せず、具体的な話し合いが出来ていない為に、解決案が出ていない。また、職員間で目標の実現に向け統一した支援が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者様やご家族とのコミュニケーションを通して様々なニーズの引き出しを行い、よりよい生活が送れるような支援を提案できる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 10 月 14 日 (14:00~14:30)
3. 日常生活の支援	メンバー 橘 大石 川井 古村 館

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	11	2		16人

前回の改善計画

利用者様とコミュニケーションを図りながら、ニーズを把握し、職員共有して速やかな対応ができる

前回の改善計画に対する取組み結果

- 全てのニーズを把握していない部分もあるが、利用者様の基本情報を基に、変化があった場合は都度職員間で情報共有し、利用者様にとって住み慣れた日常生活に近づくよう支援出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	9	3	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	9			16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならぬい声をチームで言語化できていますか？	2	10	4		16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8	6	2		16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか？	4	9	3		16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 利用者様の言動や行動、体調など、少しの変化でも変化が見られた場合は、職員間で情報共有し、対応をすぐに検討し、実施している。改善点や、疑問点についてはミーティングや会議で話しあっている。利用者様の個々ADLに合わせた基本的な介護は個々の職員が出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 本人様の生活環境について、最低限の情報は把握しているが、「ご本人様の声にならない」本人様の要望を聞き取ることが出来ず不安が残る部分がある。また全ての利用者様の情報を把握しているわけでもなく、会話が十分に持てず、観察不足また変化に気付けない場合がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 過去の情報収集を基に、現在の生活環境を把握し、その中から以前の暮らしに繋がる生活支援、また本人が満足して生活が出来るよう支援を行っていく。また、情報共有は記録に残し、事例等について話し合い、振り返りを行う事でより良い支援に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 10 月 18 日 (14:30~15:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 沼畠、赤澤、佐藤、大石

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	7	3	16人

前回の改善計画	サービス担当者会議に、ケアマネだけではなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネジャーが中心となり各関係機関との情報交換に努めている。その内容について、申し送りノートへの記載、ミーティング、ケース会議などを通じて、職員間で日々情報を共有し、必要に応じてサービスの提供が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	10	2	2	16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	8	4	2	16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	7		16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	8	2	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
• 在宅生活継続のために必要な情報についてはフェイスシートでの確認や申し送り、ミーティング等で情報共有出来ている。 また、本人や家族の意向に沿った支援が提供出来るようケアマネジャーを中心に様々な制度の検討や利用が出来るようサービス調整を図っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
• 独居や高齢者世帯の場合、生活状況の把握が難しく適切なサービス提供に至るまで時間を要することが多い。家族との関係性が希薄なケースもあり、生活スタイルを把握出来ないこともある。 信頼関係が構築出来ていない場合には、本人や家族の意向を聞き出せないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
• ご家族様、利用者様に関わる際に速やかな情報提供や相談を行い、信頼関係の構築に努める。また、本人や家族の意向を引き出し適切なケアマネジメントが展開できるよう支援継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 17 日 (14:00~14:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	妻神・岩館・佐藤・高野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7	8	1		16人

前回の改善計画

利用者様へのケアや支援方法で上手くいったケース、上手くいかなかったケースについて、申し送りや職員会議等で情報共有を図り、ケアの改善や向上を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果	・各利用者様へのケアや支援方法についての見直しや改善方法の検討は、ミーティングや会議での話し合いや、ケアマネに相談する事で、素早く柔軟な対応に繋げる事が出来ていた。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	8	1		16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	10	6			16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	7	9			16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	7	9			16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者様の体調面に変化が生じた時や、予防接種等で観察をする時、気象状況や利用者様、ご家族様の意向によりサービスの切り替えや追加、変更等が必要な際には、ニーズに応じて臨機応変な対応を行い、職員間でも情報を共有する事が出来ていた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の資源利用に関わる職員が限られており、様々な資源に対して把握出来ていない職員がいる事、ニーズに応じて必要とされる資源の活用やサービスを提案するが、利用者様が拒否したりご家族様が必要と思わず活用に至らない場合もある。また、共有した情報への観察や振り返りの記録や話し合いが不十分である為、継続した支援が行えていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・利用者様の目標の実現に向け、ミーティングや会議を通し、統一したケアを心掛ける。また、関わった利用者様の情報は職員間で共有し、問題点に対して具体的な解決案を提案していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 10 月 13 日 (14:00~14:30)
6. 連携・協働	メンバー 沼畑・田村・橋本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	6	5	2	16人

前回の改善計画

地域の一員として防災や災害時の連絡が図れる様、協力に努めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

可能な限り業務調整し、地域での活動に参加している。また新型コロナ感染症蔓延防止のため、部外者の来訪は制限があり、施設として積極的な受け入れが出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	4	1	7	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	2	2	8	16人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5	6	1	4	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	10	1	2	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 管理者やケアマネジャーを中心にその他のサービス機関との連携が図れており、相互に必要な情報交換が出来ている。新型コロナ5類移行により徐々に対面で様々な活動が再開されており、町内会の奉仕作業、防災訓練、慰問などを通じて交流出来る機会が増えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 事業所としては地域での様々な活動に参加することが出来ているが、管理者やケアマネジャーが中心であり、限られた職員のみ参加しているのが現状。新型コロナ感染症蔓延防止のため、他の高齢者や地域住民が来訪することがなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 地域活動の情報収集に努め、町内会や地域の災害訓練に参加できる。
- 事業継続計画作成し、計画の内容について研修や訓練を実施できる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 10 月 11 日 (14:30~15:00)
7. 運営	メンバー 古村、岩館、佐藤、塚原、水野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	8	2	2	16人

前回の改善計画

地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討するほか、運営推進会議や町内の集まりなどで地域の方に小規模多機能居宅介護の様子を知って頂く。

前回の改善計画に対する取組み結果	施設広報誌を定期的に作成し、運営推進委員や町内会に配布するほか、事業所の掲示板に貼り普段の様子を知っていただいている。また、行事や運営推進会議の際に利用者の創作物を掲示したりプレゼントしている。
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	7	6	1	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	2	1	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	6	1	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	6	3	16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者様やご家族からの要望や意見について、聞き入れた職員がすぐにリーダーや担当者に報告することにより、ミーティングやケア会議等で周知話し合い、速やかに具体的な対応やケアができている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナが少しづつ縮小してきたことによって、町内の清掃活動や防災訓練に参加することが増えてきているが、コロナ以前のような活動はできていない。現在の状況でどのような形で地域との関わりを持っていくのかの話し合いが不足している。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・新型コロナ感染症等の状況を踏まえながら、施設のイベント(各行事・研修会)などを積極的に実施することで、地域住民が参加できる機会を作り、地域に開かれた施設を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日 (13:15~13:35)
------------------	-----	--------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	佐藤 岩館 妻神 高野
-----------------	------	-------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5	11			16人

前回の改善計画	内部研修(e-ラーニング)やAEDの活用方法を実施するほか、防災計画や事業継続計画(BCP)の体制作りを行い、職員全体へ周知を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	内部研修(e-ラーニング)やAED講習など実施できている。防災計画やBCPの周知は出来ていない部分もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	7	1		16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	3	4	3	16人
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	5	9	16人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	4	10	2		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	e-ラーニングを活用し、内部研修を行うことが出来ている。 インシデント報告書が以前より上がってくることが多くなった。また、アクシデント・インシデント報告書を回覧し、共有できている。 資格取得に向けた研修も受講している職員も数名いる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	他の職員が研修を行っているか、その内容を知ることがない。 地域ケア会議に参加する職員が限られており、その内容が把握できない。 インシデントやアクシデントの検討方法なども含めて、周知が出来ていない場合があり、繰り返し発生してしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・現在利用されている方がどのような資源を活用しているか把握する。また、地域ケア会議の内容を職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 10 月 6 日 (14:30~15:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー 高野 妻神 橋 水野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5	10	1		16人

前回の改善計画

在宅での介護や認知症、虐待などについて事業所での接遇や対応などを事例をもとに話し合う事ができる。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護に関する困難事例や認知症、虐待について、当事業所のケアを振り返りながら、毎月のケア会議や普段のミーティングで話し合い、職員間で共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	1			16人
②	虐待は行われていない	14	2			16人
③	プライバシーが守られている	8	.8			16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	4	4	3	16人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	6			16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束や虐待などについては、法人内で事例を挙げて共有したり、e ラーニングや外部研修を通して学ぶ機会を設けており、日々の業務や利用者様へのケアに活かすことができている。

また、個人情報の取り扱いに関しては、マニュアルを確認し、プライバシーを意識しながら対応するようになっている。成年後見制度に関しては、必要に応じて利用者様やご家族にその活用について情報提供している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

トイレや入浴時など利用者様の安全を優先してしまい、パーソナルスペースに踏み込んだケアや周囲に配慮の足りない声掛けやプライバシー意識しないケアを行っていることがある。また、プライバシーの取り扱いに関して、声掛けの内容についての研修は行っているものの、職員間で意識差が生じている時がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

身体拘束やプライバシー、成年後見制度の取り組みを運営推進会議で随時報告し、知っていただくとともに制度等について一緒に学べる機会を持つ。

R6 年度 地域かかわり改善計画

A 事業所自己評価の確認

- ・サービス評価の内容を職員全員で理解を深め、次のサービス評価に活かす。

B 事業所のしつらえ・環境

- ・利用者様やご家族とのコミュニケーションを通して様々なニーズの引き出しを行い、よりよい生活が送れるような支援を提案できる。

- ・利用者様の目標の実現に向け、ミーティングや会議を通じ、統一したケアを心掛ける。また、関わった利用者様の情報は職員間で共有し、問題点に対して具体的な解決案を提案していく。

C 事業所と地域のかかわり

- ・新型コロナ感染症等の状況を踏まえながら、施設のイベント(各行事・研修会)などを積極的に実施することで、地域住民が参加できる機会を作り、地域に開かれた施設を目指す。

- ・ご家族様、利用者様に関わる際に速やかな情報提供や相談を行い、信頼関係の構築に努める。また、本人や家族の意向を引き出し適切なケアマネジメントが展開できるよう支援継続していく。

D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

- ・現在利用されている方がどの様な資源を活用しているか把握する。また、地域ケア会議の内容を職員間で共有する。

E 運営推進会議を活かした取り組み

- ・身体拘束やプライバシー、成年後見制度の取り組みを運営推進会議で随時報告し、知っていただくとともに制度等について一緒に学べる機会を持つ。

F 事業所の防災・災害対策

- ・事業継続計画作成し、計画の内容について研修や訓練を実施できる。
- ・地域活動の情報収集に努め、町内会や地域の災害訓練に参加できる。